

## 志学会ニュースレター

### Shigakukai, Christian Scholars' Fellowship

#### 巻頭言

「研究者のライフサイクルと研究」

青山学院大学 芹田 敏夫

今年 8 月 23 日のリトリートにて、「金融の研究を通して、キリスト者として学んだこと、考えたこと」と題して、主題講演をする機会をいただきました。ここではその概要を述べます。自己紹介から始めて、私個人の経験、研究生生活を通じて、1) 研究者のライフサイクル、2) 金融の意義と私の研究、を中心にお話し、キリスト教主義大学の優位性と課題についても触れました。

研究者のライフサイクルについては、専門の資産運用の理論を応用して、研究者を目指してからシニア研究者までの期間にどのように歩むべきかを検討しました。短期と長期の目標、環境の変化、リスクへの対応、先送り傾向への対応策など、について触れました。目標は、各自に示されたキリスト者の研究者の使命に従うことでしょう。考慮すべき重要なライフイベントとして、転職、結婚、出産・育児、親の介護、体力の衰えなどがあります。重大なリスクとして、職探し、環境の変化、家族の問題、自分の病気があります。これらを考慮して、年齢に応じた人生の段階において、研究、教育、家庭、教会生活、休息をどうバランスを取っていくかがポイントになります。

第二の「金融の意義と私の研究」では、研究期間中に研究のパラダイムシフトが生じた経験を語りました。私の研究におけるパラダイムシフトは、それまでの合理的な個人・企業という揺るぎない前提とは離れた、人間はいつも合理的とは限らないことを前提とする行動経済学が 1980 年代から台頭したことです。それへの対応を通して、先入観や主流派への盲信の危険性、新しいスキルへの対応、が重要になることを経験しました。その中で、人間の強欲(greed)について、自分の金融に関する研究の持つ意義について自問し続けてきました。

最後に、リトリートを通じて参加者の皆さんと意見を交換し、問題を共有できたことに感謝いたします。「どんな貪欲にも注意を払い、用心なさい。」(ルカ 12:15)

#### INDEX

- ◇巻頭言
- ◇研究助成金のご案内
- ◇講演会報告
- ◇実行委員会報告
- ◇志学会とは

#### ◇研究助成金のご案内

志学会ではクリスチャンの若手研究者および学生（院生を含む）の研究を励ます目的のもと、研究助成金事業を行っており、今年度も助成金受給希望者を募っております。キリスト教信仰を有し、研究職あるいは専門職に就くことを将来の選択として考慮している若手研究者、大学院生、および学部生などが対象となります。応募の詳細につきましては、右の URL より応募要項をご覧ください。

なお、提出書類の締め切りは **2020 年 1 月 14 日 (火)** となります。ご応募を心よりお待ちしております。

#### 応募要項

<http://shigakukai.org/wp-content/uploads/2019/12/requirements2019.pdf>

#### 申請書

[http://shigakukai.org/wp-content/uploads/2019/12/application\\_form2019.doc](http://shigakukai.org/wp-content/uploads/2019/12/application_form2019.doc)

#### 推薦状

<http://shigakukai.org/recommendation.doc>

## ◇第 32 回関東公開講演会の報告

2019年11月18日(月)お茶の水クリスチャンセンターにて厚見恵一郎先生(早稲田大学社会科学総合学術院・教授)が「政治思想史における共同性、支配、政治—自然観とのかかわりにおいて—」という題でご講演されました。聖書の創世記1章26-28節において三位一体の神の「共同性」の表現として人間が創造されたこと、そして人間が被造世界を「支配」することを命じられた聖句からは、ご専門である政治思想史における二本の太い糸である「公共性」と「権力」の概念が読み取れることが解き明かされました。また、政治思想史において被造世界、即ち「自然」をどう捉えるかということが古代ギリシャ・ローマ時代から近代西洋にかけて変遷してきたことが、ご専門であるルネサンス期の政治思想家マキアヴェッリの思想を軸に紹介されました。個人的には文字資料(テキスト)をデータ分析したことがあるので、現在の視点から過去を一方的かつ無時間的に批判することは避けるべきとの先生のご意見には大きくうなずきました。通常の講演会の時より牧師先生が多く、一味違った意見交換や情報交換ができ、実り多い時間が過ごせて感謝します。

井口幹夫(青山学院大学理工学部・准教授)

## ◇実行委員会報告

2019年10月7日(月)、キリスト者学生会事務所にて志学会総会、引き続き実行委員会が開かれました。実行委員を担ってくださっていた、矢島さんは、2020年4月からKGKの総主事になられ、また、藤原誠さんはドイツに研究の拠点を移され、事務局員として支えてくださった根田さんも常勤の仕事が与えられ、交代されることになりました。新年度の実行委員、事務局、監事は、以下の通りです。

会長：大谷順彦

実行委員会：鈴木寛(委員長)、芹田敏夫(事務局長)、小川真(新任、KGK主事)、  
ダニエル・ヘラー、宮添輝美、梅津光弘、藤原正澄、井口幹夫(新任、青山学院大学)

事務局：鎌田泰行(主事)、井関幸寛(新任、事務局員、東京大学学生)

監事：野々山哲郎、山崎龍一

その他、前年度の活動報告や会計報告、新年度の活動計画、予算などが承認されました。

～今後のスケジュール～

関東：2020年5月頃 公開講演会(詳細未定)

全国：2020年8月21日～22日 志学会リトリート

### <志学会とは…>

キリスト教信仰を有する(または求道中の)若手研究者や研究職、またはそれに準じる専門職を目指す大学院生・学部生を励まし支援する団体です。

### ◇寄附金のお願い

志学会の事業に必要な資金は支援者の方々からのご寄附によって支えられています。

今後長期に渡り活動を継続・充実させるためには、多くの方々からのご支援が必要です。

本会の事業活動にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せいただきたく思っております。

#### <運営寄付金用口座>

ゆうちょ銀行 店名〇一九 (ゼロイチキユウ) 当座 0588101 志学会

#### <研究助成金寄付用口座>

ゆうちょ銀行 店名〇一九 (ゼロイチキユウ) 当座 0673586 志学会